

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	救急医療対策事業			事業番号	011-173
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康医療政策課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(2) かかりつけ医から高度医療までつながる地域医療体制の充実
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①地域医療体制の充実		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—	目標値	—
		寄与するKPI	無	取組	—	ターゲット	—

2	関連計画				
3	事業開始年度	昭和 47 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市救急医療対策事業運営費補助金交付要綱			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、市外郭団体			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	医療機能が低下する休日・夜間に初期急病（歯科）診療を運営する公益財団法人堺市救急医療事業団、一般社団法人歯科医師会及び入院治療等が必要な重症緊急患者等の受け入れを行う救急告示病院（精神科のみの診療を行う病院を除く22病院）	対象数	24 団体	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	休日・夜間等の救急医療体制の確保等により地域の救急医療体制を確立し、地域住民の生命の安全の確保及び健康保持増進に寄与すること。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>・公益財団法人堺市救急医療事業団（以下「事業団」という。）に対し、こども急病診療センター（小児科）及び泉北急病診療センター（内科）の運営に係る補助金を交付。事業団は、両センターに出務する医師及び薬剤師を医師会等外部団体の協力を得て確保し、また重症者等を後送する病院の確保を行うなど休日・夜間の適正な医療提供を行っている。</p> <p>◆診療受付時間 こども急病診療センター 平日 20:30～翌朝4:30 土曜日 17:30～翌朝4:30 日・祝 9:30～11:30 12:45～16:30 17:30～翌朝4:30 泉北急病診療センター 土曜日 17:30～20:30 日・祝 9:30～11:30 12:45～16:30 17:30～20:30</p> <p>・救急搬送等を受け入れる二次救急医療機関及び歯科急病診療を行う一般社団法人堺市歯科医師会に対する補助金の交付により地域救急医療体制を確立。 ・大阪府、大阪市との共同事業による周産期医療体制の確保。 ・二次救急医療機関との情報共有、意見交換による連携強化。 ・市民の適正受診に向けた啓発活動。</p>			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	公益財団法人堺市救急医療事業団ほか			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度
	救急受診者数（初期・二次・三次救急）	人	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
			目標値	-	-	-
			実績値	84,467	99,523	-
達成率	-	-	-	-		
	当該指標を選定した理由	救急医療提供の成果物として、主要かつ客観的な指標であるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	急病患者への医療提供にかかる指標であることから、目標値を設定し達成率を測ることに適さない。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
	救急告示病院連絡会開催回数	回	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標値	2	2	2
			実績値	2	2	-
達成率	100%	100%	-	-		
	当該指標を選定した理由	本市主催で定期的に連絡会を開催し、初期、二次、三次救急医療に関する情報を、二次救急医療機関と共有し、市内の円滑な救急医療提供体制の構築を図っているため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	救急告示病院連絡会開催予定回数（年2回）				

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	救急医療対策事業	事業番号	011-173
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	503,614	405,983	381,913	426,152	366,090	
13 財源内訳	国支出金					
	府支出金	16,798	16,800	16,798	16,798	
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)	36,302	36,692	36,686	36,571	36,353
	一般財源	450,514	352,491	328,429	372,783	312,869
14 人件費 (b)	6,560	9,840	9,840	9,840	9,720	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	510,174	415,823	391,753	435,992	375,810	

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
					R4	決算		
16 事業費内訳	普通旅費	R4	6	6	会場借上料	R4	0	0
		R5	14	14		R5	19	19
	消耗品費	R4	19	19	周産期緊急医療体制整備事業負担金	R4	4,789	4,789
		R5	27	27		R5	4,789	4,789
	印刷製本費(かかりつけ医を持ちましよう)	R4	206	206	性暴力被害者ネットワーク協力医療機関支援負担金	R4	300	300
		R5	100	100		R5	300	300
	通信運搬費、筆耕翻訳料	R4	90	90	救急医療対策事業運営費補助金	R4	414,786	361,417
		R5	170	170		R5	354,714	301,493
	土地借上料	R4	5,956	5,956	研修会参加負担金	R4	0	0
		R5	5,956	5,956		R5	1	1

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 救急受診者数(初期・二次・三次救急)	人	84,467	99,523
② 上記①にかかる年間経費	千円	374,371	394,666
③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	4,432	3,966

備考(算出についての説明等) 年間経費については、堺市救急医療事業運営補助金(歯科急病診療事業を除く)に補助金事務にかかる人件費を加えたもの

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 令和4年度は、令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、初期、二次、三次救急医療機関においてそれぞれの役割分担に基づき一般救急だけでなく発熱症状のある方への対応なども含め救急医療の提供に尽力し、救急受診者数は令和3年度比約15%増と令和2年度から増加傾向が続いている。救急受診者数の増加に比例して、単位当たりの経費も減少傾向である。各医療機関の感染対策等の努力や役割分担、連携により救急医療体制を確保したことは大変評価できる。

KPI等への寄与(基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 本事業により、救急医療提供機能を持つ初期、二次、三次救急医療機関のうち、初期救急医療機関の運営及び二次、三次救急医療機関の補助を実施することで、市内における救急医療体制の確保を達成した。受診可能な医療機関が少なくなる休日・夜間の救急医療体制を確保することは、地域医療体制の充実に必要不可欠であり、堺市基本計画2025における「①地域医療体制の充実」に寄与したと評価する。